

ヒラアナゴ, イボアナゴおよびフクトコブシにおける 核型および電気泳動像の種間差 (英文)

荒井克俊・藤野和男・工藤真弘

本研究内容は日本水産学会誌に掲載されているため, 論文要旨のみを記載した。

【要 旨】

日本近海産ヒラアナゴ, イボアナゴおよびフクトコブシの核型並びにでんぶんゲル電気泳動像の比較・解析を行ったところ, 前二者の核型は, $2n=32, 18M+12SM+2SM, ST$, 後者は, $2n=32, 16M+14SM+2ST, A$ であることが示され, また, でんぶんゲル電気泳動像では7酵素中6酵素の遺伝子座の存否等に種間差が認められた。さらに, 遺伝子型出現頻度における同型接合過剰の程度の比較から, 採集地域による繁殖構造の相違が示唆された。

日本水産学会誌, 54 (12) : 2056-2064 (1988)